

文学院人文学専攻 アセスメント・チェックリスト

文学院人文学専攻(修士課程)の学位授与水準(DP)

DP1: 人文学の研究の方法を身につけて、先行研究を適切に理解し、必要な調査やデータ収集を行い、その処理・分析を的確に行うことができる。

DP2: 各専門分野に関わる文献を正確に読解し、人文学的な研究に活用できる言語運用能力を修得している。

DP3: 自ら思考を展開し、研究課題を適切に設定し、それを解決する能力、および研究に必要な説明を適切に行うコミュニケーション能力を修得している。

DP4: 異文化に対する知識と理解、多様な地域や民族の現代的課題を把握する観察と分析を基盤として、高度の専門性をもつ職業を担う総合的な能力を修得している。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容, 質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート ※共通科目のみ	6月, 8月, 11月, 2月	毎年	1~2年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し, 教員に教育方法改善の指針を与える。	文学院
2	成績評価	4月	毎年	1~2年生	・成績の点検	学修簿	人文学専攻学生指導関係教員	成績をもとに履修指導を行う。	文学院人文学専攻
3	大学院生調査	随時	1年に1回	1~2年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革を行う際の参考とする。	総合IR室
4	修了時調査	2~3月	毎年	2年生	・カリキュラム, 研究指導の満足度等 ・DPの達成度	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム及び学習環境を改善する際の参考とする。	文学院
5	修了生調査	9月	毎年	卒業生調査対象者のうち, 大学院を修了した者	・大学院教育の有用性と現在の状況	質問紙	修了生	教職員に開示してカリキュラム改革及び学習環境の改善を行う際の参考とする。	総合IR室
6	DPIによるカリキュラム点検	随時	数年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	人文学専攻学生指導関係教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合は開講科目数を含め, いずれかを調節する。	文学院人文学専攻

文学院人間科学専攻 アセスメント・チェックリスト

文学院人間科学専攻(修士課程)の学位授与水準(DP)

DP1: 人間科学の各分野に関する専門的知識を修得できる能力を有する。

DP2: 人間と社会の理解に向けた科学的・実証的なアプローチにより研究を遂行できる能力を修得している。

DP3: 企業、学校、行政などの幅広い業種で活躍できる能力を修得している。

DP4: 国際的に通用するコミュニケーション能力を修得している。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容, 質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート ※共通科目のみ	6月, 8月, 11月, 2月	毎年	1~2年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し, 教員に教育方法改善の指針を与える。	文学院
2	成績評価	4月	毎年	1~2年生	・成績の点検	学修簿	人間科学専攻 学生指導関係 教員	成績をもとに履修指導を行う。	文学院人間科学専攻
3	大学院生調査	随時	1年に 1回	1~2年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革を行う際の参考とする。	総合IR室
4	修了時調査	2~3月	毎年	2年生	・カリキュラム, 研究指導の満足度等 ・DPの達成度	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム及び学習環境を改善する際の参考とする。	文学院
5	修了生調査	9月	毎年	卒業生調査対象者のうち, 大学院を修了した者	・大学院教育の有用性と現在の状況	質問紙	修了生	教職員に開示してカリキュラム改革及び学習環境の改善を行う際の参考とする。	総合IR室
6	DPIによるカリキュラム点検	随時	数年に 1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	人間科学専攻 学生指導関係 教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合は開講科目数を含め, いずれかを調節する。	文学院人間科学専攻

文学院人文学専攻 アセスメント・チェックリスト

文学院人文学専攻(博士後期課程)の学位授与水準(DP)

DP1: 人文学の各分野に関する高度な専門知識をもとに調査・研究・保存・活用および学会発表などを行い、博士論文を完成させる研究推進能力と問題解決能力を修得している。

DP2: 各専門分野において国際的な交流を深めるためのコミュニケーション能力を修得している。

DP3: 自ら議論を展開させる発想力、そして各専門分野の学問の継承と発展を図ることができる、独創性を伴う深い学識と高い指導力を修得している。

DP4: 広汎な文化事象を深く理解し、学知の継承の重要性を踏まえて、専門家としての視点と知識を持って社会に説明し知的還元を行う能力を修得している。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容, 質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	成果評価	年4回	毎年	1~3年生	・成果の点検 ・教員からの執筆進捗状況報告	研究論文 I・II 執筆進捗状況報告書	人文学専攻学生指導関係教員	成果と報告をもとに研究指導を行う。	文学院人文学専攻
2	大学院生調査	随時	1年に1回	1~3年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革を行う際の参考とする。	総合IR室
3	修了時調査	2~3月	毎年	3年生	・カリキュラム, 研究指導の満足度等 ・DPの達成度	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム及び学習環境を改善する際の参考とする。	文学院
4	修了生調査	9月	毎年	卒業生調査対象者のうち, 大学院を修了した者	・大学院教育の有用性と現在の状況	質問紙	修了生	教職員に開示してカリキュラム改革及び学習環境の改善を行う際の参考とする。	総合IR室
5	DPによるカリキュラム点検	随時	数年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	人文学専攻学生指導関係教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	文学院人文学専攻

文学院人間科学専攻 アセスメント・チェックリスト

文学院人間科学専攻(博士後期課程)の学位授与水準(DP)

DP1: 人間科学の各分野に関する高度な専門的知識を修得できる能力を有する。

DP2: 人間と社会の理解に向けた科学的・実証的なアプローチにより博士論文を完成させる能力を修得している。

DP3: 大学や研究機関も含めて幅広い業種で活躍できる能力を修得している。

DP4: 国際的水準を満たした研究能力を修得している。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容, 質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	成果評価	年4回	毎年	1~3年生	・成果の点検 ・教員からの執筆進捗状況報告	研究論文 I・II 執筆進捗状況報告書	人間科学専攻 学生指導関係 教員	成果と報告をもとに研究指導を行う。	文学院人間科学専攻
2	大学院生調査	随時	1年に 1回	1~3年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革を行う際の参考とする。	総合IR室
3	修了時調査	2~3月	毎年	3年生	・カリキュラム, 研究指導の満足度等 ・DPの達成度	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム及び学習環境を改善する際の参考とする。	文学院
4	修了生調査	9月	毎年	卒業生調査対象者のうち, 大学院を修了した者	・大学院教育の有用性と現在の状況	質問紙	修了生	教職員に開示してカリキュラム改革及び学習環境の改善を行う際の参考とする。	総合IR室
5	DPによるカリキュラム点検	随時	数年に 1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	人間科学専攻 学生指導関係 教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	文学院人間科学専攻